

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	高津 淳
2. 研究課題名	胸部食道癌術後反回神経麻痺の嚥下障害に関する定量的解析
3. 研究の目的・方法	<p>胸部食道癌術後の嚥下障害は術後QOLに影響する重要な合併症の一つであり、嚥下障害の予防、評価およびリハビリテーションの向上は重要な課題である。先行研究において、胸部食道癌の手術は気道周囲のリンパ節郭清に伴う前頸筋群の切離による喉頭挙上制限や反回神経麻痺による声門閉鎖不全が術後の嚥下障害の原因であると報告されている。しかし、胸部食道癌術後に重度の嚥下障害を呈した症例の中には、反回神経麻痺がなく嚥下障害を認める例と逆に反回神経麻痺があっても嚥下障害を認めない例が存在しており、食道癌術後の嚥下障害の病態が画一的ではない。従来報告における喉頭挙上制限および声門閉鎖不全以外にも嚥下機能低下の原因が存在する可能性がある。本研究では嚥下造影検査 (Videofluoroscopic examination of swallowing; VF) に対して、画像解析ソフトを用いて、胸部食道癌術後における嚥下障害を定量的に解析する。</p> <p>研究期間: 2018年10月15日から2023年3月31日</p> <p>(遺伝子解析: 行わない)</p>
4. 研究の対象となる方	2013年4月～2023年3月31日までの期間に当院にて胸部食道癌手術を受けられた患者さん
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名() 診療情報内容(嚥下造影画像、音声データファイル)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX : (052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)